

☆世界の子どもたち☆

タイにおける幼児教育

タイでは幼児教育は家庭でするものと考えられてきました。現在でも幼稚園や保育園に通っているのはごく一部の子どもたちにすぎません。タイにおいて幼稚園という概念がはじめて起こってきたのは、一九一八年に教育法が施行された時です。

一九二一年に小学校課程が義務制になりました。タイ政府は義務教育が全国に普及するよう努めました。現在、義務教育の期間は六年間になっております。

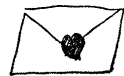
就学前教育の実施に踏切ったのは、一九三七年に文部省が何人かの女子教員を日本で養成させるための奨学金を出すようになった時からです。養成を受けた女子教員たちの帰国

ニラモル・チャユツハキ

後、最初の国立幼稚園が一九四〇年に設置されました。続いて幼稚園教員養成大学がつけられました。しかし、国立幼稚園がつけられる以前にも、少数の私立の女子学校ではすでに幼児クラスを運営していました。

文部省は良い幼児教育が重要であると認めてはおりませんが、あまりにも費用がかかるため政府の手で経営することが困難でした。小学校の義務教育プログラムだけでも政府にとっては大変な負担でしたので、就学前教育までは義務制にはなりませんでした。

全国の七一地域のそれぞれに一つずつ国立の幼稚園をつくり、それを私立幼稚園のモデルとするということが政府の政



策でした。幼稚園では四〜六歳の幼児に二年間の教育を行ないます。これにはなかなか費用がかかり、子どもを幼稚園に通わせる費用が出せない親もたくさんいます。しかしながら就学前教育に対する需要は高いのです。このため文部省はもうひとつ別の種類の就学前教育プログラムを設けました。それは公立の義務教育の小学校に付設されたクラスで就学前学級 (pre-primary class) と呼ばれています。これは無料であり、五〜七歳の子どもを対象にし、入学前の一年間通学させて教育するものです。そこでの教育方法は二年課程の幼稚園のプログラムと同類のものです。

現在、幼稚園の大部分は私立です。バンコクには五六二の私立幼稚園があり、園児数は五七、六四六名、教員数二、五六二名です。その他の地方には約八四二の私立幼稚園があり、その園児数は九三、一三二名、教員数は三、七二七名です。この数には、二年課程の幼稚園も小学校等に付設されているものも含まれています。

国立幼稚園の授業料は年間八百円ですが、私立幼稚園では月額約六千円です。

二年課程の幼稚園の教育内容には、社会、言語、算数、感覚教育、音楽リズム、体育、美術があり、これらは午前の時

間に行なわれます。午後は昼寝をします。日課は午前八時三十分から午後三時までです。たとえば、次のような日課が組まれています。

八時二十分 整列

八時三十分 国歌および祈りのことばの斉唱

八時四十分 健康検査とはなしあい

九時 課題活動

十時 ミルクとクッキーのおやつ

十時十五分 音楽リズム活動

十時四十五分 おはなしの時間

十一時 昼食準備

十一時十五分 昼食

十二時 入浴 (シャワー) とひるね

十四時 おめざめ

十四時二十分 午後のおやつ。ジュースとおかし。

十五時三十分 はなしあい。レクリエーションと自由活動。帰宅。

私立幼稚園の多くは、付設の nursery-class (幼少児クラス。二歳半〜三歳) をもっています。幼少児クラスや day-care center (保育園) の需要は次第に高くなってきていま

す。文部省、内務省、厚生省、大学、慈善事業団体などの諸機関が、都市および農村地域での働いている母親へのサーピスと同時に、栄養、教育法、発達心理学に関する研究を目的として保育園を経営しています。

タイにおける就学前教育には、現在、次のようないくつかの問題があります。

(一) 有資格教員の不足。文部省は、幼稚園長は少なくとも児童教育の学士号と三年以上の幼児教育の経験をもっていることが必要であり、教員は少なくとも教員免許状を持っているなければならない、という基準を設けています。けれども、この目標はなかなか満たされていないのが現状です。それとも、この資格のある教員は給与が高く、雇うのには費用がかかるからです。大学卒の教員の給与は月額最低一万七千円ですが、高校卒の教員の給与は月額九千円です。そのため無資格の教員が依然として多いのが現状です。

(二) 幼稚園の設備や物品の不足。そのため玩具、遊具、教材が不十分な幼稚園がたいへん多いのです。

(三) 幼稚園における学習偏重。文部省は読みのレディネスとして、やさしい単語の読み書きができること、算数の概念

として一から二十までの数を教えること、理解すること、数字を書くことができるようにと示唆しています。しかしこの基準は親たちの期待とは一致しておらず、親たちは有名校の入学試験に合格できるように、できる限りの学習をさせてくれるよう望んでおります。そのため年長児には、更に多くを教え、小学校一年生レベルの学習をさせている幼稚園もたくさんあります。

(四) 政府および国民の財政的な限界。このため就学前教育を受けられる子どもは、現在のところ六パーセントにすぎません。

以上のようなことは、私どものかかえている問題の主要ないくつかにすぎません。私どもの幼稚園教員は、まだまだ目標に達しているとはいいたいたいものです。現在、文部省は新しい初等教育カリキュラムに合わせて、新しい幼稚園教育カリキュラムを準備中です。それが就学前教育の毎日の活動に関するいくつかの問題を解決することに役立つものであると良いと願っています。

(チュラロンコン大学)